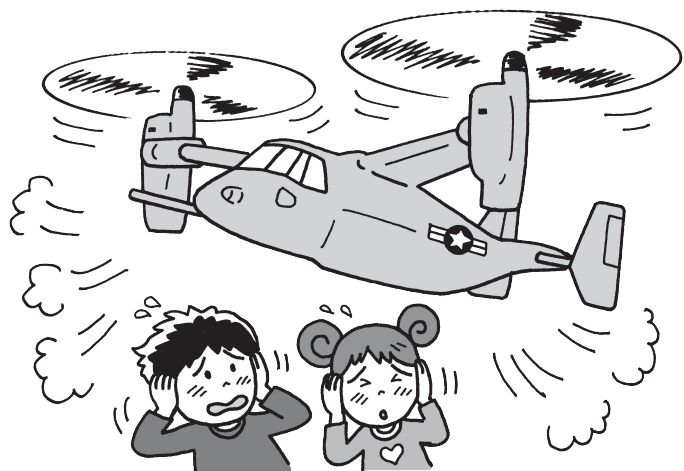


5・15
祖国復帰
40年

“基地のない、平和な沖縄を”

沖縄の人々の願いを聞いてください



「世界一危険な基地」だから

今年5月15日は、戦後米軍に占領されていた沖縄が日本に返還されて40年目です。沖縄県民が祖国復帰に込めた願いは、「核も基地もない平和な沖縄」でした。しかし日米政府は広大な米軍基地を残し、県民は今も米軍の犯罪・事故に苦しみ続けています。

だからこそ沖縄県民は今、人口密集地のご真ん中で爆音をまき散らし、墜落をくりかえす「世界一危険な基地」米海兵隊普天間基地の撤去を県民ぐるみで求め、立ち上がっているのです。

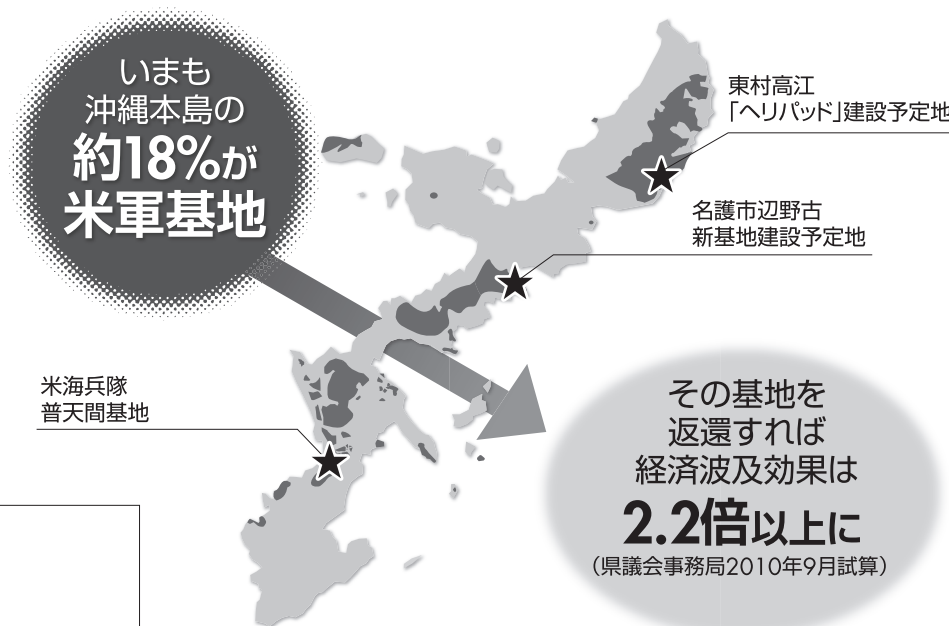
海兵隊は日本を守る？

ところが日米政府は、「海兵隊は日本を守る『抑止力』だ。新基地をつくらない限り、撤去しない」と言い張っています。

これはウソです。海兵隊はベトナムやイラク、アフガニスタンなど、他国を侵略してきた「殴り込み」部隊です。こんな部隊に基地を提供する必要はありません。

基地の無条件撤去

—それは世界の常識です—



補修費用も日本に要求

米政府は、新基地建設が難しいなら普天間基地を補修して使い続けると言い出しました。そして今秋から、墜落をくりかえす新型輸送機オスプレイを配備しようとしています。しかもこの補修費やグアムなどへの基地建設費用も日本が持てと要求しています。これに従う日本政府はまるで属国です。

世界中で米軍基地が撤去

フィリピンでは20年前に、国民の要求で2つの米軍基地が撤去されました。世界では政権交代が起きた8割の国で米軍基地が撤去されています。危険な基地は無条件撤去を—それは世界の常識です。

沖縄県民とともに、「基地のない平和な沖縄と日本を」の声をあげましょう。

日本平和委員会

2012年4月発行

一人ひとりの平和の願いをもとに行動する平和NGOです
http://j-peace.org/ 東京都港区芝1-4-9平和会館4階
TEL03-3451-6377 FAX03-3451-6277